



## 外出先で地震に遭ったとき

地震は、在宅時に起きるとは限りません。勤務中や外出時に大地震が発生しても落ち着いて行動する為には、普段から最低限の備えをする事や、場所に応じた対処法を普段からイメージしておく事が大切です。

地震の揺れが大きいときには、頭を保護しながら、身の安全を確保し、冷静に行動することが大切です。また、地震の揺れは一度きりとは限りません。強い余震がくることもあるので、避難したらしばらくはその場で安全を確保して下さい。

公共施設・ショッピングセンターなどに居る場合は係員の指示に従ってください。

屋外では・・・

- ・ビルの看板やガラス、ブロック塀から離れ、バッグなどで頭を守る

移動中には・・・

- ・電車やバスでは、係員の指示に従う。
- ・車を運転している時は、ハザードランプを点灯し、車道の左側にゆっくり停車して、カーラジオ、携帯電話などにて情報を得る。
- ・車から降りて避難する時は、キーはさしたままでドアロックせずに移動する。

海や山の近くにいるときは・・・

- ・海や河川の河口部の近くで揺れを感じた時は、高台へ避難する。
- ・山の近くでは土砂崩れに注意する。

外出時に、防災グッズが無くて困ることがあります。日頃から普段持ち歩くバッグの中に災害時に役立つグッズを入れるなどの対策をしておくとう心強いです。

例として

- ・防犯ブザーか笛
- ・飲料、飴
- ・携帯電話、充電器
- ・メモ帳、ペン
- ・10円玉（公衆電話用）
- ・緊急連絡先のメモ
- ・ミニライト



など



ご存じですか？  
住宅用火災警報器は、住宅火災からあなたを守ります。  
住宅用火災警報器を設置しましょう。

## あったかい言葉かけ運動

たくさんのご応募ありがとうございます。ご応募の中から一部を紹介します。(原文のまま掲載しています)

四月下旬の早朝、自家用車の車輪が路肩にはまりこみ動かなくなりまりました。困り果てていたときに、たまたまジョギングしていた男性とすぐ前の家の方にも手伝っていたら、この難局を乗り越えることができました。私にとっては、神様が天から降りてみえたようでした。ただ、ただ頭の下がる思いでした。お二人に感謝感謝です。

【宮代地区住民】

娘の自転車の練習に行く途中、向こうから高校生の男の子の自転車が来ました。まだ少し危ない運転をする娘を端に寄せ、止まらせ、動かさず、すれ違うのを待っていると、高校生の男の子は私に頭を下げ、娘に笑顔で「ありがとう」と言って通り過ぎました。当たり前の事をしただけなのに……すっごくいい気持ちになりました。

【東小保護者】



### あったかい言葉募集しています

問合せ／青少年健全育成町民会議・生涯学習課（内線224）

この前、3年生の子が泣いていて困っていたので「大丈夫？」と言いました。次の日にその3年生の子が「この前はありがとう」と言ってくれて、とっても心が温かくなりました。

【垂井小】

まちづくりセンターの入り際に、だっこされている小さなお子さんから（2歳児くらい）「おはよう」と声を掛けてもらい、この小さなお子さんから教わったように、嬉しくもあり声掛けの大切さを学びました。

【府中地区住民】

忘れ物の多い息子に、忘れ物をするたびに「しつかり見直しをしない」と言い聞かせていました。ある日、私が忘れ物をしたとき、息子は私に「まっ、そんなときもあるよ。気にしない、気にしない。」と言ってくれました。反省とともに嬉しかったです。

【表佐小保護者】